

人間科学研究所年次総会・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業公開研究会  
ポスターセッション演題・抄録  
No.5

## 自閉症スペクトラム児・者の伴走的支援 -10年間の治療教育プログラム開発の試み-

A Escorted Support for Children with Autism Spectrum: Trying to Develop the  
Program of Education and Care

荒木穂積（立命館大学大学院応用人間科学研究科 教授）  
竹内謙彰（立命館大学産業社会学部 教授）

自閉症スペクトラム児・者を対象に、大学の研究施設を活用して、2002年より治療教育プログラム開発に取り組んでいる。支援者は応用人間科学研究科等の大学院生で、支援対象者は京都府下・市内に在住の自閉症スペクトラム児・者（5歳～17歳）とその家族である。伴走的支援の観点から、治療教育プログラム開発の基本理念およびその活動成果を報告したい。

（「インクルーシブ社会に向けた支援の〈学=実〉連環型研究」伴走的支援チーム）